
詩集 ミチピト

麟龍鳳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩集 ミチビト

【Zコード】

Z7642X

【作者名】

麟龍鳳

【あらすじ】

作者が感じたことをリアルに書き写すかと思します。なので視点も口調もよく変わると思います。
ちなみに更新不定期です。

涙の跡

悲しい時に泣くなれば
こんな機能はいらなかつた
うれしいときに笑うのなら
もつと笑わせてほしかつた
いつでもぼくらは泣いていて
いつでもぼくらは笑いたくて
もつと笑う機能を増やしてほしかつた
泣く機能を消してほしかつた
ごナゾこの機能があるからこそ

今の僕がいるんだって

涙が出た

* * * * *

ケンカビト

* * * * *

ぼくは自分が好きですか？ と、自問自答する日々です
嫌いな時もあれば、好きになる時もある
ぼくらはいつでも自分とケンカして
さらには友達ともケンカして
いつでも後悔しちゃってる
その時の自分は好きですか？ と、自問自答する日々です

* * * * *

慧日記

* * * * *

今日も日記帳を開き 文字を書いていく
だけどそれを続けている内に書くことが無くなつて
いつだが同じようなことを書いていた
なにをしてもなにをやっても なんだか全てが同じの様に見えて
ぼくは書くのを止めました

月×日曜日

今田の空は曇っていた

今日も空は曇つていた

月×日 曜日

そんな感じで変わったことが時々あつたのは
たわいもない日常を暮らしてきたからです

* * * * *

写真像

* * * * *

あの写真の中には昔のぼくが映っていて
なんて楽しそうに笑っていた
いつもみるたび思い出す 昔の楽しそうなぼくを
いつからだつけな
未来を考えるのが怖くなつたのは
いつからだつけな

後ろを振り返るのが楽しみになつたのは
そのたびにナニかを落としそうになつて
だからまた前を向いて歩きだす

楽しそうに笑っていた
その笑顔を落としそうになるたびに
後ろを向くのをやめてしまつ

楽しそうに笑っていた

カンガムヒスト

「いつもぼくらは探してた
届きそうで無くしてしまつ
生きている意味を

なぜぼくらは生きてるんだ?」
と思つてからこの世界が

なんのために存在しているのか分からなくなつた
友達がいつも愚痴をこぼしている

「生きるのめんどくさい」

うるさいんだよ、と
心の底で思つていた
そんなのだれでもだらうとその時思うけど
ぼくが悩むと ぼくだけ特別に見えた

ぼくはいろんな悩みを抱えている
何故生きるんだろうと考えている
そんなこと自分だけじゃない
みんな考えているよ

スタイリッシュ（前書き）

そうやって大人になつていくんでしょうね

スタイリッシュ

望みが一つ叶つたら
昔の望みは薄れしていく
望みが叶えれば叶うほど
昔の望みは当たり前のよう叶つ
大人のお金の価値観と
子供のお金の価値観はちがう
大人になればなるほど
いろんな価値観は薄れしていく
当たり前のように流していた涙も
流し続けると恥ずかしくなつてやめる
昔はよく泣いたねつていうことは
今はもう泣けない
そうやって成長していくたび
なにかを無くしている
そうやって人生を歩いて行くたび
なにかを落としている
それに気づかないまま
ぼくは進んでいる

ヤフー・カーフレ（前書き）

平等と見せかけて、全て不平等なのかもしだれませんね

ヤブレカブレ

* * * * *

死とは平等に与えられるものなのに

生きている間は不平等

それに耐えきれず死んで行く人もいるのに

なせかたれもこのルールを変えられないんだる

気に入らないルールならそれを破りたい

でも破れないというルールがある

いつたいこの世界のルールは誰が決めたんだ

* * * * *

ナニカのアレルギー（過敏性）

アレルギー、アレルギー性疾患

生きてこないと云ひよ

なんのために生きているのかなんて
生きているうちに考えなくてもいい
ただ いまを生きているといふことを
知る「」ことが出来たらそれでいい
所詮は死んでいく命なのだから
生きている今を楽しむことができればそれでいい
テストで悪い点を取つた
友達とケンカしてしまつた
先生に怒られてしまつた
そんなことで人生は終わらない
そんなこと生きているといふことが揺り伏しとは無い
勉強さえできない人たちが
今も飢えて死んでいっている
だったら 勉強ができるといふこと 자체が幸せだと思つ

今の日常が続くこと自体が幸せだと想つ

たつた一つの嫌な出来事など

すぐに別の事で埋もれて行く

絶望が多いほど 希望も多いのだから

明日の楽しみを忘れず生きていこう

つながり（前書き）

全ての人間の遺伝子をたどると、一人の女性にたどり着くそうです。
(違つてたらごめんなさい)
それを思つて書きました。

つながり

昨日の自分はただの他人
今日の自分とはまったく違う

からり今日失敗して
明日にはそれは他人事

明日になれば

それでも明日には確かに自分がいて

過去の他人に感謝をしよう

今のところを倉庫へくれたことを

希望の光

前さえ見えない暗闇だつた
それでもぼくは進んでいく
進まなければならなかつた
だれかがぼくの背中を押すから
望んでもない前進が
ぼくを恐怖に突き落とす
そんなとき見えた微かな光
それを求めて全力疾走
手を伸ばしてつかみ取つたその光
一生そばにいてくれという願いは
誰も叶えてくれなかつた
数時間たつたら消えていた光
それを求めてまた歩く
身も心もボロボロとなり
挫折しかけたその瞬間
再び光が顔を出す
傷はすぐに治つた
だけど走らなかつた
手を伸ばせば簡単に届いてしまつたから
こんな物のために頑張つていた
だけど
これが無ければ頑張れなかつた
消えてもいい
だけどまた顔を出して
希望という慰めの光

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7642x/>

詩集 ミチビト

2011年12月1日19時54分発行